

オランダ人アーティストの市内観光とメディアテーク案内(2014.01.30)

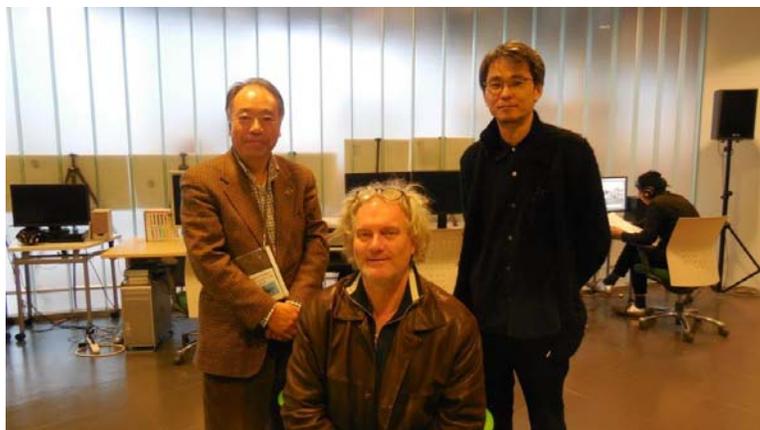
オランダから来仙中のアーティストを、佐藤さんが「るーぷる仙台」を使って瑞鳳殿とメディアテークを案内しました。メディアテークでは企画・活動支援室長が、「3.11をわすれないためにセンター」の活動の様子と建物の特徴を紹介され、終始アーティストとして熱心に見学をされていました。前日の被災地見学と合わせ、多分印象的な2日間だったと思いますが、大阪に戻られた後も約1か月は日本で芸術活動をされるとのことです。尚、メディアテークでは大震災の情報蓄積・発信が行われており、また建物は従来とは異なる画期的な建築で美的・機能的にも高く評価されています。大震災にも耐えた建物の設計者伊藤豊雄氏は、昨年の建築界のノーベル賞ブリッカー賞を受賞されています。



瑞鳳殿正面にて



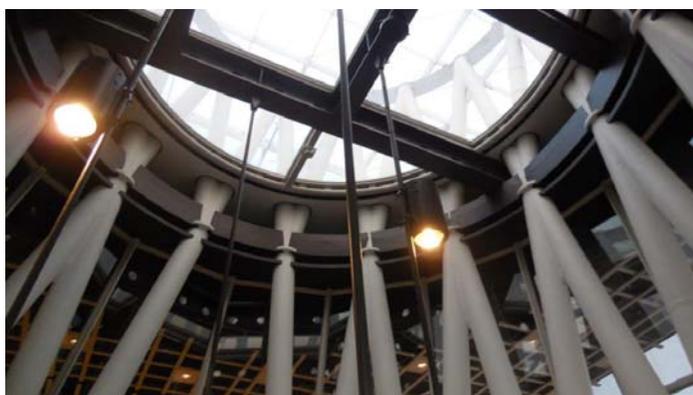
メディアテーク7階「3.11を忘れないためにセンター」で。



センターのスタジオにて。



スタジオにて取材データの編集の様子を熱心に見入る。



メディアテークの構造。黒い天井板の部分を「スレート」、白いパイプが円筒状「チューブ」と呼ばれている。3.11の巨大地震にも耐えた。



帰路、夕暮れ迫る仙台駅前ペデストリアンデッキにて。